

温室効果ガス排出量検証報告書

日本特殊陶業株式会社 様

1. 検証の対象

一般財団法人日本品質保証機構(JQA)(以下、「当機構」という。)は、日本特殊陶業株式会社が作成した「2020年度CSRデータ算定書(スコープ3、カテゴリ4)」(以下、「算定報告書」という。)に記載された2020年度のScope3(カテゴリ4)の温室効果ガス排出量が、同社により作成された「環境パフォーマンスデータ集計ルール標準(ESKW-027-3)」(以下、「算定ルール」という。)に準拠し、正確に測定、算出されていることについて第三者検証を行った。

検証の目的は、「算定報告書」の2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)のScope3(カテゴリ4)の温室効果ガス排出量を客観的に評価し、同社のScope3(カテゴリ4)の温室効果ガス排出量の算定の信頼性をより高めることにある。

2. 実施した検証の概要

当機構は、「ISO14064-3」に準拠して検証を実施した。本検証業務の温室効果ガス排出量の対象活動範囲はScope3(対象カテゴリはカテゴリ4)のエネルギー起源二酸化炭素排出量であり、保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準は、総排出量の5%とした。また、本検証業務の対象組織範囲は日本特殊陶業株式会社とした。検証では、算定ルールの確認、算定対象範囲の確認、算定シナリオとアロケーションの確認、算定集計体制の確認、排出量データについて根拠資料との突き合わせを行った。

3. 検証の結論

検証の対象とした「算定報告書」の2020年度のScope3(カテゴリ4)の温室効果ガス排出量において、「算定ルール」に準拠せず、正確に算定されていない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

「算定報告書」の作成責任は日本特殊陶業株式会社にあり、Scope3(カテゴリ4)の温室効果ガス排出量の検証の結論に関する責任は当機構にある。日本特殊陶業株式会社と当機構との間には、特定の利害関係はない。

東京都千代田区神田須田町一丁目25番地

一般財団法人日本品質保証機構

理事 浅田 純 男

